

## 読売新聞 きょう（9月10日）のイチ押し

### 1面・経済面 SBI、新生銀行にTOB

インターネット金融大手のSBIホールディングスが、新生銀行の株式公開買い付け（TOB）を実施すると発表しました。新生銀を子会社化することで手薄だった銀行事業を強化し、総合金融グループとしての存在感を高める狙いがあるようです。

- ★ SBIは、株式の保有比率を現状の約20%から最大48%まで高めたうえで、新生銀の経営陣を刷新する考えです。一方、新生銀は「当行取締役会の賛同を得たものではない」などとコメントしており、経営権を巡って敵対的TOBに発展する可能性もあります。
- ★ 新生銀は、バブル崩壊で経営破綻した旧日本長期信用銀行が前身です。国が計約4000億円の公的資金を注入し、約22%の株式を保有しています。厳しい経営が続いており、約20年も筆頭株主だった米ファンドは2019年に株式を売却して撤退しました。

### 1面・社会面など 緊急事態宣言延長を決定 19都道府県

政府は、東京や大阪など19都道府県の緊急事態宣言と、宣言から移行させる岡山、宮城を含む8県の「まん延防止等重点措置」の期限を12日から30日に延長しました。

- ★ 一方で政府は、新型コロナウイルスワクチン接種などを条件に、11月以降は宣言と重点措置の対象地域であっても行動制限を緩和し、社会経済活動の再開を目指す方針も決定しました。
- ★ 菅首相は記者会見を開き、新型コロナ対策などについて説明しました。自民党総裁選に出馬せずに退陣することに関しては「多くの公務を抱えながら（総裁選を）戦うことはエネルギーが必要。新型コロナ対策に専念すべきだと思い、出馬しないと判断した」と語りました。

#### 他紙と比べて

人間が宇宙空間で快適に暮らすには何が必要なのでしょう。 「なるほど科学&医療」のページ（29面）で京都大学有人宇宙学研究センターの探究についてレポートしています。人工的に重力を作り出したり、宇宙で木を育てたりするなど、企業との様々な共同研究が進行中です。